

H25 事業仕分け結果に対する検討結果

- 1 事業名 歴史民俗資料館管理事業（事業番号1）
- 2 仕分け結果
町継続（改善） 内訳：町継続（改善）6人
- 3 仕分け意見
 - ① 自らが行う前向きな情報発信を。收藏だけではなく見てもらう取り組みを。
 - ② 入館者増加への取り組みを。（特別展示期間中だけの休日開館は疑問）
 - ③ HPの充実、PRを。（現在開催中の展示の告知がみつけれなかった）
 - ④ 収集品選定基準の策定や、選定委員会を設置し収集品の検討を行う等により、収集の公平性を高めるべき。
 - ⑤ 各施設と連携し、広く展示すべき。
 - ⑥ 名称を「北条歴史…」から「北栄歴史…」に変更しては。
- 4 検討結果
 - (1) 情報発信の充実と来館促進について
 - ア 施設PRのため資料館紹介リーフレットを作成し行政機関、学校、社会教育施設等に配付する。
 - イ 展示PRのためには年度当初に企画展、常設展の年間展示スケジュールを作成し学校、社会教育施設等の関係機関に配付するほか町報等に掲載する。
 - ウ ホームページは、トップページから資料館の情報が探しやすくなるようレイアウトを変更し、施設情報、展示情報ともに時機を逃さず更新する。
 - (2) 関係施設及び機関との連携と来館促進について
 - ア 学校に対して、事前に展示計画や所蔵品等の情報を提供し、学校が授業や調べ学習に使いやすい環境をつくる。要望があれば所蔵品の出品、出前事業などにもできるだけ柔軟に対応していく。また、大栄地区については施設が遠方となるため、図書館での展示や集会所等収蔵品を活用して学習環境の整備に努める。
 - イ 図書館の講座事業開催時には、関連する資料館所蔵品を図書館において展示し、広く公開する。
 - ウ 近接する中央公民館の展示事業（年間通して開催されるロビー展及び

1 1月上旬に北条農村環境改善センターにおいて開催される町美術展)と相互にポスターや会場案内を掲示し、来館者が回遊するよう促す。

(3) 開・休館日の設定について

現状で土日祝日(年末年始除く)の6割程度を開館しているが、恒常的に土日開館を行うことは非常に困難な状況がある。開館日を様々な形で幅広く周知し、またHPや各種資料・媒体での情報提供を積極的に行うなど、「来館しやすい環境」を整えていき、従来通り企画展のみ会期中無休で対応する。

(4) 収集の公平性確保について

収集基準の策定及び選定委員会の設置は必要。歴史民俗資料館運営委員会及び文化財保護委員会の助言を求めるなどして、計画的に検討を進めます。

(5) 名称変更について

名称を変更するには条例改正が必要となるため、歴史民俗資料館運営委員会等の協議を経て計画的に進める。